

会議録

会 議 名	令和2年度第3回米原市図書館協議会
開 催 日 時	令和2年11月29日（日）午前10時00分～午前11時30分
開 催 場 所	近江図書館 かたりベホール
出席者および欠席者	出席者：寺村和美委員、井上智子委員 伊藤めぐみ委員、膽吹英子委員、久保田吉則委員、 清水冬子委員、今中雅美委員、和田昌子委員 欠席者：山下秀一委員 事務局：山本教育長、上村部長 梶田館長、梶川館長、押谷主事、寺義主事、武山主事
議 題	協議事項 米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）案について 報告事項 （1）米原市子ども読書活動推進計画（第3次計画）（案）パブリックコメントについて （2）図書館協議会視察研修について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	○第1章への意見 ・「図書館運営の評価および改善ならびに運営状況に関する積極的な情報提供について規定されています」の文章が分かりづらい。 →分かりやすく整理する。 ・期間が5年は長いのではないか。 →他市も5年であり、短くすると策定作業が続くため、5年で決定。ただし、適宜見直しを行う。 ○第2章への意見 ・基本目標①の課題は、今後もコロナが終息しないことを見込んだ文章にした方が良いのではないか。 →検討する。 ・行ってきた取組や現状を詳しく書くべきではないか。 →第2章のボリュームが大きくなりすぎないように、検討する。 ・基本目標⑤の課題は、実際に動いているのだから、何もできていないかのように書かないでほしい。 →「協力いただける方を募り」と「市民と共に事業を企画・運営していく」の文章を分ける。 ・課題が幅広く書いてあるので、何から行っていくのか分からない。

	<p>→整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標④の課題に、学校司書のまとめを挙げてほしい。 <p>→検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットサービスをご存知ですか」のグラフが分かりづらい。 <p>→帯にパーセンテージを付け足し、分かりやすく整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和元年度 市民一人当たりの貸出冊数」の判別がしにくく、グラフが分かりづらい。 <p>→説明を付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標④の学校図書館の整備はできているように思えない。今後も行っていくという書き方にした方が良いのではないか。 <p>→修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標⑦の課題は、山東、近江それぞれのものであると良いのではないか。 <p>→検討する。</p> <p>○図書館利用者アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスの意味を添えたらどうか。 <p>→修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の質問に「自習室の開放」という項目を入れたらどうか。 <p>→検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「10代」「20代」を「小学生」「中学生」「高校生」「大学生」にしたらどうか。 <p>→検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文言が分からないので、小学生向けのアンケートを作ってほしい。 <p>→作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスの質問も、項目を選んだ理由を聞いたらどうか。 <p>→修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山東、近江の個性が生かしているかの質問があつたらおもしろいのではないか。 <p>→検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の質問「⑫その他」の枠を広げて、意見を書きやすくしてほしい。 <p>→修正する。</p>
<p>会 議 録</p>	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 教育長挨拶</p>

■事務局

協議会の委員数が9人で本日の出席人数が8人、米原市立図書館条例施行規則第16条第2項の規定により過半数の出席を得て定足数に達しておりますので、本会は成立していることを御報告申し上げます。それでは協議事項に入ります。米原市立図書館条例施行規則第16条の規定により、会長が議長になると定めているため、ここからは会長に進めていただきます。よろしく申し上げます。

■会長

まず、図書館サービス基本計画の策定スケジュールと第1章、第2章までを事務局から説明をお願いします。

3 協議事項

米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）案について

■事務局

【米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）策定スケジュール】および【米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）構想案】【第1章 計画の概要】【第2章 第1次計画期間中の成果と課題】に基づいて説明

■会長

以上説明をいただきました。第2章は量が多いので、まず策定スケジュールと第1章について、皆さん御意見などいかがでしょうか。

本日で構成の第1章と第2章を協議し、次の1月で第3章、第4章、第5章を協議し、3月で仕上げるというスケジュールですか。

■事務局

1月は第3章と第4章を協議していただく予定です。

■会長

委員の任期があるので、3月で仕上げるとすると、次で第3章、第4章、第5章を協議しないと間に合わないのではないのでしょうか。

■事務局

第5章は指標ですので、3月に協議していただき、次期の委員様に引き継いでいただくかたちで考えています。

■会長

第1章「図書館運営の評価および改善ならびに運営状況に関する積極的な情報提供について規定されています」が分かりづらいです。

■事務局

法律の文言を使っていますので、もう少し分かりやすく整理しま

す。

■会長

期間は5年ではないといけないのでしょうか。5年は長いと思います。

■事務局

現実問題として、子ども読書推進計画が終了したら、次年度には図書館サービス基本計画が終了するかたちです。事務局自体が計画の策定業務ばかりになってしまい、図書館の業務に集中していけるかという問題もあります。他の自治体も5年間が多いですし、実際は、3年間終了時点で2年間掛けて次の計画を作るので、あっという間に5年過ぎます。2ページ「計画策定後の社会情勢や図書館を取り巻く環境の変化に応じて見直しが必要になった場合には、適宜計画の見直しを行っていきます」とあるように、見直しはしていきます。

■会長

第2章についてはいかがでしょうか。

■A委員

基本目標①【課題】「イベント等を検討し、利用促進を図る必要があります」について、コロナ禍で今年もイベントを中止しているし、今後もコロナが終息しないことを見込んだ文章にした方がいいのではないのでしょうか。なかなかイベントはできないと思います。

■事務局

先日、対策を講じながら親子絵本づくり教室を行いましたし、今後クリスマスのイベントを行う予定です。コロナ対策を講じながら、少しずつイベント事業を始めているところです。

■A委員

積極的にイベントを行うのかと思う人もいますので、文章の見直しをお願いします。

■会長

この計画は市民に対してのものですか。

■事務局

はい。

■会長

行ってきたこと具体例などを書いて、もう少し分かりやすくしないと、市民が読むものとは思えないです。

■事務局

イベント名を書くということですか。

■会長

「このようなことを行ってきたが、まだ足りないためこれを行っていく」ということです。そうでないと、市民の理解は得られないと思います。

■副会長

課題が第1次計画と同じようなものになっていますが、図書館協議会の意見は、どこに取り入れたのでしょうか。また、米原市でなくても言えることが多く、市民の身近なものではない気がします。例えばレファレンスについてですが、広報まいばらでPRされているのは見ましたが、第2次計画では、レファレンスの言葉の意味を知ってもらっただけではなく、「気軽に尋ねてください。楽しいですよ。」と発展したことを書いてもらう方が良いと思います。まいばら読書の日の周知に関しても、図書館協議会で設定されたのを知りましたが、知っている私ですら、どこでPRしていたのか、どのように取り組んでいたのかが分かりません。9ページの子どもの読書活動に関しても、県での研修のことなどを図書館協議会で意見として出したつもりだったのですが、おうちで読書や絵本広場など、なぜ県との関わりを持たないのかななどの疑問だらけです。全ての課題にここはどうなったのかという疑問が出ました。

■事務局

子ども読書活動推進計画（第3次計画）で設定するまいばら読書の日は、これから計画が策定され、その後周知をします。図書館サービス基本計画は令和4年度からという時間のずれがあるので、それを踏まえての周知として理解していただきたいです。確かに私たちは議論して、「来年からがんばりましょう」とはしていますが、まだ表に出せる段階ではありません。来年度から設定されるため、ポスターなどの段取りをしています。そのような準備をしながら、表に出して、1年間周知に努める中で、次の一步の図書館サービス基本計画が令和4年度から始まるという理解をお願いします。

■会長

課題はこれで良いと思うので、第4章で具体的な取組を書けるように、全体的に現状を詳しくした方が良いのではないのでしょうか。

■事務局

全体のボリュームを見て、第2章が余り大きくならない方が良いと思いました。

■会長

草津市の図書館運営計画を見ましたか。結構細かく行うことを書いているので、そのように作ってはどうかと思います。基本目標⑤の協働の部分で、全然できていないとのことですが、図書館協議会の委員が母体となっているボランティアグループ「まいばら本と人をつなぎ隊」もがんばってくれているし、たくさんの方々に協力していただいているのですから、それは協働として書くべきではないでしょうか。

■事務局

たくさんボランティアさんに御協力いただいて、日頃から図書館のサービスをさせていただいていますので、具体的なグループ名は載せられませんが、検討します。

■副会長

名前が出る必要はないです。ただ、9ページ「市民と共に企画・運営していく必要があります」について、本当に企画・運営をする際に市民の声を聞いているのか疑問に思います。今までのボランティアは、「ブックスタートをするから来てください」「本の修理をするから来てください」といった協力でした。そこで、「まいばら本と人をつなぎ隊」を作り、図書館協議会で知り得た内容で、図書館と協働したいと伝えました。こちらが動いて図書館との協働がやっとできてきたとっていたし、今回の写真展にも協力しているのに進んでいるという文章がなく、図書館サービス基本計画に「協力していただける方を募り」と書かれるのはどうかと思います。全ての課題が現状と合っていないと思いました。

■B委員

私も副会長から聞いたときに、本を運ぶなどの都合の良いボランティアさんを募っているのではないかと思ったのですが、その後に「市民と共に事業を企画・運営していく必要があります」と書いてあったので、疑問に思いました。

■事務局

まず、9ページ「現在十分でないサービスを実施するために協力いただける方を募り」という文章は、高齢者施設への配本をするために図書館がボランティアさんを募り、コーディネート役をするべきではないかという図書館協議会の御意見を受けて書いたものです。「まいばら本と人をつなぎ隊」とは別です。

■B委員

図書館は、市民のためのものです。図書館協議会も図書館の附属団体みたいなものではなく、一緒に協議する対等な立場にあります。市民ボランティアも、図書館の下請ではないという意識で行っていきべきではないでしょうか。そもそも図書館は、市民の税金で成り立っているため、基本理念から市民と一緒に進化していこうという姿勢で運営しているのではないかと考えています。蒸し返して申し訳ないですが、昨年、「まいばら本と人をつなぎ隊」で福袋を行いたいという話をしました。守山市立図書館に行った時に、市内の中学生が選んだ本を、中学生のおすすめの本として福袋で出していたので、参考にして提案しましたが、却下されました。選書は市民に任せるべきではなく、司書が責任を持つところではないかという理由でした。図書館にある本はきちんと選書したもので、外に出せないものではないですよ。市民が選ぶべきではないと言われましたが、借りるのは市民ですよ。市民が良いと思った本を福袋に入れてコメントを書き、それを読んだ市民が借りたいと思うことが、なぜいけないのかと疑問でした。企画・運営までをする人を求めているのではなく、本を運ぶなど、図書館が頼んだことをやる人だけを募っているという意味ですか。

■事務局

そういうわけではありません。福袋は、図書館の主催事業としてボランティアさんと一緒に行うために担当割をした上で、期間や人員などの問題があり、開催が難しかったというのもあったと思います。主催事業を一緒に企画してもらったり、手伝っていただけたりできれば良いと思い書きました。

■B委員

やはり分けてほしいです。募っているのなら、募っていると書いてもらえれば良いです。ただ、事業を企画・運営というのはどのようなことを求められているのか気になります。

■会長

現状として、「まいばら本と人をつなぎ隊」があって、徐々に行っているという認識をお願いします。

全体を通してC委員どう思われますか。

■C委員

事業を進めていくには段階が必要で、すぐに実践できないのも事実だと思いますし、その中にはもちろん予算化しなければならないこともあると思います。課題の中で、年度ごとに何を優先的に取り

組むかを明確にして、予算や人員を考える必要があります。今の文章は、行政や図書館の方でできないことを、ボランティアや市民一体となって取り組んでいくと幅広く書いてあるので、何から行っていくのかわかりません。一個一個に絞り成果を出さないと、恐らく全部は無理だと思います。米原市として「まいばら読書の日」を優先的に取り組むのであれば、まず、図書館や学校など、それぞれの機関でやるべきことや予算を明確にしていくべきだと思います。また、具体的な取組の話になるとと思いますが、課題でこのようなことをしていきますというときに、1から企画するのは大変なので、県や他市とのコラボを意識して、一緒に行っていくという考え方をされてもいいのではないかと思います。

■事務局

9ページ「協力いただける方を募り」から次の文章に続いているため、文章の整理が必要です。他のところについても、会長が言われたように、これまで行ってきたことを再度分析し、足りていない部分をピックアップしながら、5年スパンの中でC委員が言われたように取り組んでいきます。また別のものにはなりますが、もう少し短いスパンでの、行政全体で行っている3年見直しがあります。また、事業をローリングしながら、できなかったことは次年度に予算を作る見直しも含め、新たな取組も入れていくというローリング作業があります。このような、作業の中での見直しが別途必要かなと思っています。毎年度、指標に沿った評価もさせていただいていると思うので、チェックしやすいようなかたちにしていただければなと思っています。よろしくお願いします。

■副会長

基本目標④「学校司書配置への支援を行い、学校図書館の整備を進めることができました」とありますが、学校司書同士のつながりが、本当にありません。学校司書はどの課が担当ですか。

■事務局

学校司書は学校教育課です。

■副会長

学校教育課の担当者は、集まりをしなければならぬと認識してくれているのでしょうか。

■B委員

いつも図書館は生涯学習課で、学校図書館は学校教育課となっていて管轄が違い、図書館と学校図書館は少し違うものだと言われま

す。しかし、滋賀県図書館協議会交流会の中川幾郎先生の講演で、「生涯学習というのは社会教育、学校教育、家庭教育全てを含んだものである。そのため、学校と図書館を別にするのは、やはり違う。連携するべきであるし、市の図書館が学校図書館を支援することが必要である。」と聞きました。

■副会長

前に、学校司書のまとめは図書館の役割ではないと言われたので、私も管轄が違うという認識でいたのですが、図書館の図書館サービス基本計画に支援した、整備をすることができたと書いてあるのなら、まとめもしてもらいたいです。そうすれば、学校と図書館のつながりも深まって、学校司書の孤立がなくなり、もっと様々なことができるのではないかと思います。その辺りを課題に挙げてほしいと思います。

■B委員

全体のことですが、グラフが見にくいです。7ページ「インターネットサービスをご存知ですか」は項目が白黒なので探しにくいです。4ページ「レファレンスサービスについてどう思われますか」のように、パーセンテージを入れられるのではないのでしょうか。もしパーセンテージを入れられないのであれば、数字などを付けて、どこがどの項目なのかを分かりやすいようにしてもらいたいです。

■A委員

8ページ「令和元年度 市民一人当たりの貸出冊数」のグラフが分かりづらいです。一番上と一番下が同じ4冊と書かれているのに、グラフの長さは違うのは、どういうことですか。2.7冊より2.4冊の方が、なぜグラフが長いのですか。どのように読み取ったら良いか分かりません。また、上の0～100は年齢ですか。

■D委員

私も分かりません。

■事務局

説明が足りず、申し訳ございません。説明を付けさせていただきます。上は年齢の数字で、冊数は人口で割った平均の冊数です。

■C委員

8ページ「学校図書館の整備を進めることができました」について、小学校は分かりませんが、中学校はどこを見ても、とても整備されているとは思えません。今後も整備をしていくなど、書き方を見直した方がいいのではないのでしょうか。こども園の先生から、

こども園には絵本室があると聞きました。まだ知らないこともたくさんあるので、学校司書の交流会は、是非実施していただきたいです。他市に行かなくても、市の中で様々な教育ができていくことになると思います。予算面の制約もありますが、よろしく願います。

■副会長

基本目標⑦は、基本目標に対して応えるのであれば、山東、近江それぞれの課題が入ると良いのではないのでしょうか。

■事務局

検討させていただきます。

■会長

以上でよろしいでしょうか。現状と課題については、今の意見を聞いて、再度事務局で手直しをしてください。次回手直ししたものを提出するときには、どこを修正したのか分かるようにしてください。今課題が出たので、その課題から第4章の具体的な取組も次回の会議で出してください。では、第1章と第2章は終わります。次に、利用者アンケートの内容について、事務局から説明をお願いします。

■事務局

【図書館利用者アンケート】に基づいて説明

■会長

非常に大切なことだと思うので、皆さんの御意見を聞きます。

■D委員

レファレンスサービスのアンケートについて、レファレンスの意味を理解して回答されているのか疑問に思いました。私は、レファレンスの意味が分からなかったのを調べました。アンケートに、レファレンスの意味を添えて実施すると良いのではないのでしょうか。

■事務局

前回、内部評価をしていただいた時に、レファレンスについて結構厳しい評価でした。アンケートはしていますが、レファレンスそのもののPRは、欠けているのではないかと思うので、大きな課題だと捉えています。いつでも聞いてくださいなど、図書館に入ったら、レファレンスのことが分かるようにするのが一番大事だと思っています。

■A委員

子どもが同級生と長浜市立図書館に行った時、朝8時に長蛇の列ができていました。なぜかという自習室があるからです。私の子

どもの同級生の話を聞いても、やはり米原市立図書館には自習室がないから、長浜市立図書館に行くと言っています。長浜市立図書館は自習室が定員に達しても、コンサート会場などでイベントがない時は、そこに図書館職員が机を並べて、コロナ対策も十分に行いながら自習室として開放しています。だからこそ、並んででも勉強しに行くのかなと思いました。現状を目の当たりにして、長浜市と米原市で子どもたちに大きな差ができてしまうのではないかと感じました。そこで、最後の質問に、自習室の開放という項目を入れてみてはいかかでしょうか。自習室の開放という項目に〇がたくさん付くと、市民の声として行政の取組の後ろ盾にもなるのではないのでしょうか。以前、館長にかたりべホールと展示室の稼働率は、年間4割くらいだと聞きました。つまり、6割は開店休業で使われていないが、その固定経費を市民から税で補っているということですよね。僕たちがもっとイベントを行えばいいのかもしれませんが、それもできないので、米原市でできることがないかを考えて、子どもの熱い思いに応えてもらいたいと思いました。

■事務局

かたりべホールと展示室は整備した時に、もう少し稼働できる年間計画を立てていますが、今回はコロナの関係でできていません。また我々としても、かたりべホールの管理をするのは、図書館か歴史文化財保護課か議論するべきことがあります。ただ、かたりべホールは今言われた使い方があっても良いと思うので、もう少し内部で検討していきます。

■B委員

私も最後の質問項目に、自習室の開放を入れることに賛成です。先日の研修で、どこの図書館も、中高生がなかなか来ないのが悩みなもので、中高生が何を求めているかをリサーチして、来てもらえるように努力をしていると聞きました。米原市立図書館も来ないと言っているだけではなく、勉強できるなら行くなど、何があれば来るのかをリサーチしたら良いと思います。先ほども言いましたが、図書館は本を貸すだけの場所としてあるだけでは、生き残っていけないのではないかと考えているので、市民のニーズに敏感になって、変えていってもらえることを希望します。

■会長

年齢の「10代」「20代」を、小学生、中学生、高校生、大学生と書くのは、人権上いけないことですか。

■事務局

いいえ。

■会長

また検討してください。

■D委員

娘に答えてほしいと頼んだところ、分からないということがあったので、小学生はこの文言では分からないと思います。もう少し言葉を簡単にした、小学生向けのアンケートを作ってはどうか。

■事務局

言葉を易しく、ルビをふるなどですね。

■D委員

はい。中学生は分かると思います。

■副会長

レファレンスのところも、選んだ理由を聞くほうがいいのではないのでしょうか。山東と近江の個性が生きているかの質問もあれば、おもしろいのではないかと思います。最後の質問「⑫その他」は、まさしく市民が意見を述べるができる部分であると感じるので、もう少し枠を広げて、柔らかい言葉で問うなどの書きたくなる工夫をしてみてもどうでしょうか。堅い印象では、意見を書きにくいです。

■事務局

最後の質問「⑫その他」の後に、図書館サービスとして希望されるものがあれば御記入くださいなどを付け足したら良いですか。

■副会長

はい。そのようにしたら、長浜市立図書館が様々な部屋を開放しているように、部屋の利用についても、どうしたいのかを聞けるのではないかと思います。かたりべホールや、歴史文化財保護課の収蔵庫として活用している部屋などです。部屋の使い方によっては、中高生が楽しんで使ってくれる場所ができるのではないかと思います。私は、集まって本の帯やポップなどを作る場所になったら良いと思います。そのような案が出てくるかは分かりませんが、声が聞けるような、柔らかくて意見が書きやすい欄がアンケートにほしいです。

■会長

ほかにありますか。協議事項は、今日意見が出たことを踏まえて、

次に生かしてください。次に報告事項に入ります。まず、パブリックコメントについて事務局からお願いします。

4 報告事項

(1) 米原市子ども読書活動推進計画（第3次計画）（案）パブリックコメントについて

■事務局

【「米原市子ども読書活動推進計画（第3次計画）（案）」についての米原市パブリックコメントに対して提出された意見等とその意見等に対する市の考え方および検討結果について】【米原市子ども読書活動推進計画 第3次計画（案）】に基づいて説明

■会長

次に、長浜市立図書館の視察研修について事務局からお願いします。

(2) 図書館協議会視察研修について

■事務局

長浜市立図書館の視察研修について口頭で説明

■会長

参加した委員で、言っておきたいことがある方はお願いします。

長浜市立図書館長から、本を運ぶのもボランティアではなく予算で行っていると聞きました。米原市では、本を運ぶのはボランティアだと言っていますが、そこまで予算は無いものですか。

■事務局

以前、学校に本を届けるのも、ボランティア謝礼として僅かなガソリン代しかない中で行っていました。ボランティアさんの協力も必要ではないかという流れなので、どのようなかたちでボランティアさんに運ぶ依頼をしているのかなど、全体的な把握もしながら検討していきたいと思います。

■副会長

今、ボランティアに本を運ぶ依頼はしてないですね。

■事務局

はい。巡回文庫も事業が終了したので、図書館からの依頼はしていません。学校で、ボランティアさんが動いてくれているところがあるのかもしれませんが。また、先ほどの高齢者施設への支援もまだ事業として動いていないので、その辺りは考えていかないといけま

	<p>せん。</p> <p>■会長 図書館協議会交流会が、今年はコロナの影響で市から2人程度ということだったので、副会長とB委員に参加してもらいました。今中委員、復命をお願いします。</p> <p>■B委員 【「図書館協議会の意義と役割」（中川幾郎氏）の講演を聞いて】に基づいて説明</p> <p>■副会長 口頭にて説明</p> <p>■会長 報告事項は以上です。その他に移ります。</p> <p>5 その他</p> <p>■会長 こちらのパンフレットについて、A委員からお願いします。</p> <p>■A委員 【写真絵本『お蚕さんから 糸と綿と』大西暢夫写真展】【滋賀の伝統工芸ブックガイド】に基づいて説明</p> <p>■会長 是非とも皆さんも、足を運んでいただきたいと思います。そのほか事務局からありますか。なければ事務局にお返しします。</p> <p>■事務局 それでは閉会に当たり、井上副会長から御挨拶を頂戴したいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>6 副会長挨拶</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 <u>傍聴者：0人</u></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/>開示</p> <p>■一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>

全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担 当 課	教育部 米原市立近江図書館（外線 52-5246）